## 

船橋だから、

一緒に行ける。

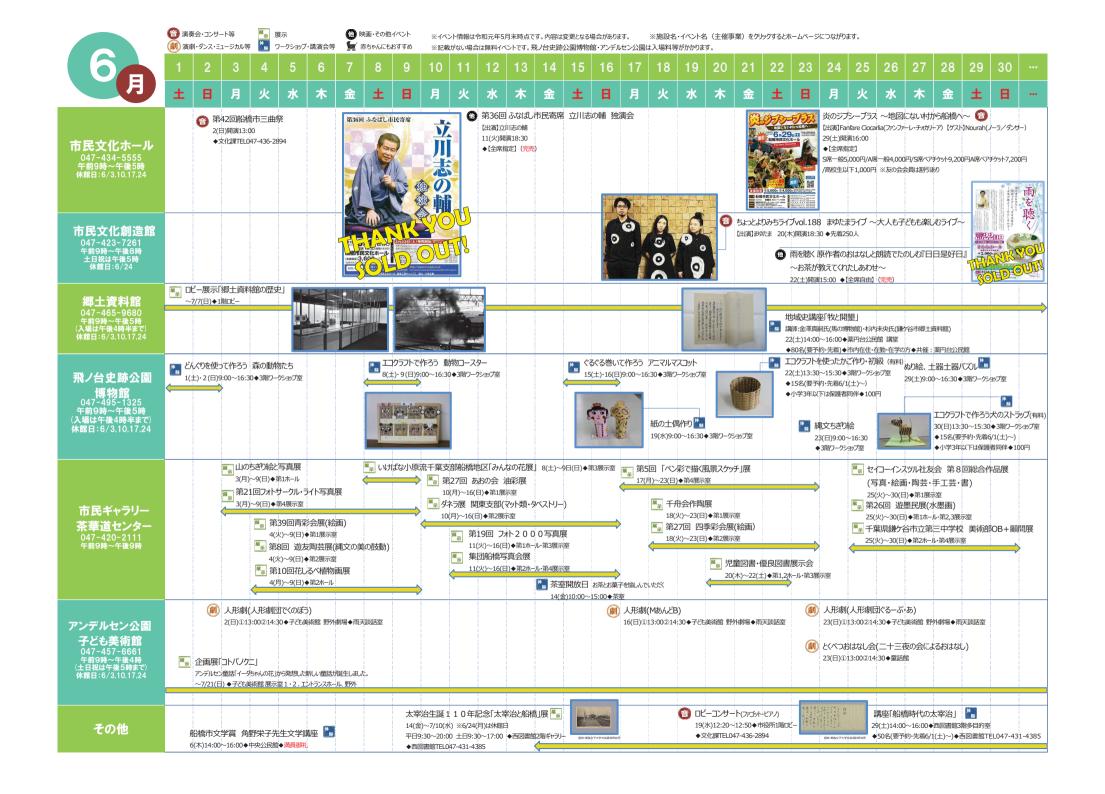
市教育委員会と文化施設のイベント情報を ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー! 大人も子供も楽しめるイベントが盛りだくさん。

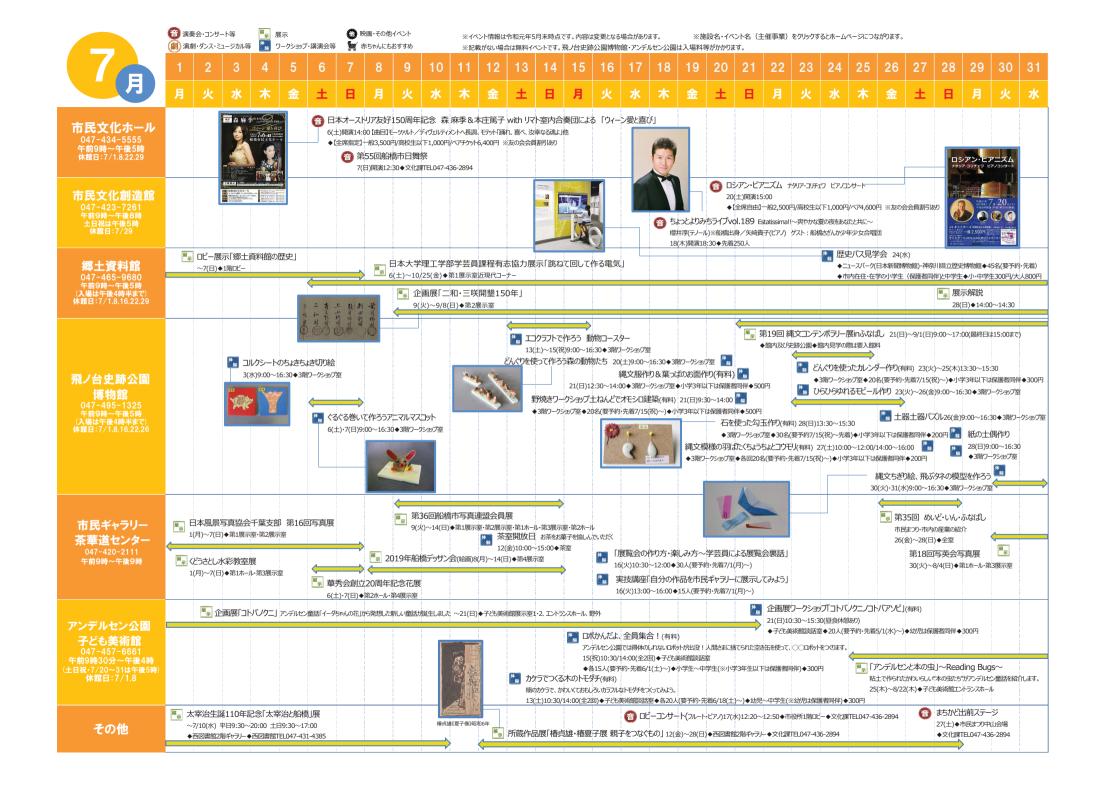


第2号

市民文化ホール/きららホール/郷土資料館/飛ノ台史跡公園博物館 市民ギャラリー・茶華道センター/アンデルセン公園子ども美術館 ほか

6つの施設が毎号交替でイチオシ情報をお届けします。第2号(6,7月号)の担当は郷土資料館です。詳しくは4ページへ!GO!







## 特集 ふなばしがわかる! 郷土資料館



船橋市薬円台にある郷土資料館は、昭和47年(1972)に開館した地上3階建ての博物館です。

平成 27 年 (2015) 10 月から工事のために休館していましたが、平成 30 年 (2018) 1 月 28 日、新しくなった郷土資料館がオープンしました。

右の写真は、郷土資料館の屋外で展示されている SL「D51 125 号機」です。雨天を除く土・日・祝日の午前 10 時から午後 4 時まで、運転席を公開しています。

リニューアルした郷土資料館には、エレベーターと多目的トイレが設置され、映像展示や図書 コーナーのように座って見学できる場所が増えました。

表紙のもとになった写真は、平日の午後に、2階第1展示室の近現代コーナーで撮影したものです。ベビーカーを押しながら、あるいは車いすでも、展示を楽しんでいただけます。

- ※ベビーカー・車いす(各1台)の貸し出しも可能です。
- ※イベントカレンダーもご参照ください



## Pick up!

企画展

## 「二和・三咲開墾 150 年」

会場:郷土資料館 3階第2展示室

会期:7月9日(火)~9月8日(日)

郷土資料館では、7月9日 (火)から、企画展「二和・三 咲開墾150年」を開催します。

右の写真は、二和小学校の近くにある、市指定文化財「下野牧二和野馬土手(しものまきふたわのまどて) |です。

江戸時代に、馬の放牧場「牧(まき)」があった船橋市内には、馬の出入りを制限するための、こうした遺構が残っています。



二和・三咲地区は、江戸時代の牧を開墾して成立した地域です。開墾の始まりは、今からちょうど 150 年前の明治 2 年(1869)です。

企画展では、明治~平成の間に書かれた文書や地図・写真などのさまざまな資料から、二和・三咲の歴史を 船橋市の歴史とともに紹介します。

また、会期中には、展示解説と町歩きの企画も予定しています。「歴史は苦手…」「昔のことはちょっと…」という方も、気兼ねなくご参加ください。



満開の梨の花(4/14、二和東にて撮影)